



月潟地区に伝わる伝統芸能を体験してみませんか

「角兵衛獅子の舞」囃子方体験会

角兵衛獅子の舞（平成25年新潟市無形民俗文化財）囃子方の体験会参加者を大募集!!**【募集ジャンル】 ■ 締太鼓（しめだいこ）と口上（こうじょう）部門**

- ・おおむね50歳代までの方で、和太鼓やドラムなどの経験者
- ・小中高生、小中高生の親御さん（未経験大歓迎！親子でいかが）
- ・角兵衛獅子の経験者

■ 篦笛（しのぶえ）部門

- ・おおむね50歳代までの方で、篚笛やフルートなどの経験者

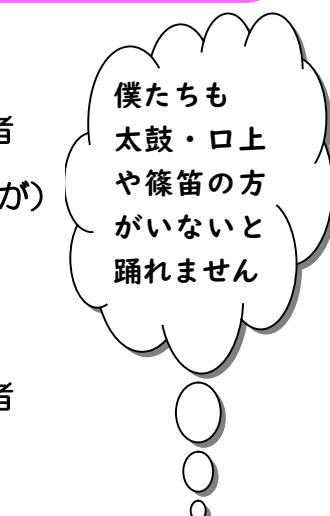
【各部門については、どれか1つにでもあてはまれば申請可
能区以外の方からの参加や、興味のある方大歓迎!!】

【日 時】 2月7日・2月14日・2月21日

2月28日・3月7日（すべて土曜日）

各回午後6時30分～【全5回・1時間程度】

【1回からでも参加できます！】

**【会 場】 月潟農村環境改善センター****【講 師】 角兵衛獅子保存会のみなさん****【体験費】 無 料****【定 員】 締太鼓・口上部門・篚笛部門 各4名程度****【申込み】**

12月22日（月曜日）から1月30日（金曜日）まで月潟地区公民館へお電話、FAX およびメールにてお申し込みください。【項目は、住所・氏名・年齢・電話番号・経験の有無です。】

TEL : 025-375-1050 FAX : 025-375-1051

メールアドレス tsukigata.co@city.niigata.lg.jp

【FAX・メールでの申し込みに対する参加案内は返信でお知らせします。なお、年末年始は返信不可です。】

月潟地区公民館

メール

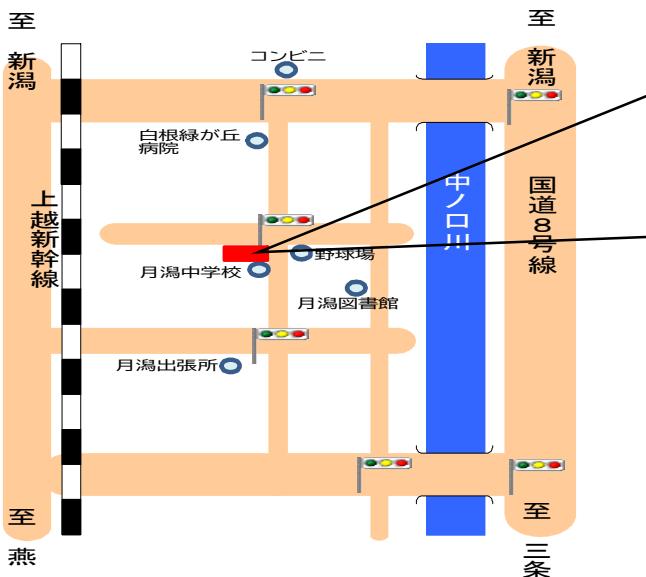
**【持ち物】 動きやすい服装・うち履き（講座に必要な用具は、公民館で貸し出します。）****【主 催】 角兵衛獅子保存会 【共 催】 月潟地区公民館****注意事項**

- ・開講前に連絡先を講師（角兵衛獅子保存会）連絡させてもらいます。

詳細は、
月潟地区公民館ホームページでご覧ください



会場の案内図



月潟農村環境改善センター

新潟市南区西萱場1069番地

025-375-5500

♪

♪

♪

★主な行事

6月 月潟まつり

9月 大道芸フェスティバル

11月 月潟地区芸能祭



【参考】角兵衛獅子の由来

「打つや太鼓の音(ね)も澄みわたり、角兵衛角兵衛と招かれて、居ながら見する石橋の、浮世を渡る風雅者(ふうがもの)、うたうも舞うも囃(はや)すのも、一人旅寝の草枕…(中略)…越後潟、お国名物はさまざまあれど、田舎訛(なま)りの片言交じり、獅子唄になる言(こと)の葉(は)を、雁(かり)の便りに届けてほしや…」

この長唄「越後獅子」は、文化8年(1822年)に杵屋(きねや)六左衛門が作曲したものである。江戸時代の百科全書ともいべき『嬉遊笑覧(きゆうしようらん)』にも歌舞の巻で

「越後獅子を江戸には角兵衛獅子という。越後にては蒲原郡より出るにより、蒲原獅子というとぞ云々(うんぬん)」と記され、

又、常磐津(ときわづ)「后(のち)の月酒宴島台(つきしゅえんのしまだい)」俗に「角兵衛と女太夫」には、

「言(こと)うておくれな月がたの。田舎者(いはざな)じやとおなぶりか、思(おも)いくらべをしようなれば、浅間の煙と煙草の煙。…」

粹人(すいじん)として嘔(うた)われ、当時、長唄・常磐津にまで取り上げられたほどで、いかに大衆に喜ばれたかを伺うことができる。

この角兵衛獅子の起りは、いつの時代か詳(つまびらか)らかでない。

天明元年(1781年)2月、本庄村屋から石瀬(いしげ)代官所へ提出された「越後国獅子踊由来」には「由緒その昔、焼失致し候由申伝(そうろうよしつた)へのみ候」とある。

『越後名寄』(宝暦(ほうれき)6年撰・1756年)には「何の時代に初めしにや、最も昔めきたる者なり」とあり、また『越後野誌』(文化12年撰・1815年)にも「その舞曲頗(ぶきょくすぶ)る古風なれども、その初め不詳」とある。

只(ただ)、いい伝えに、常陸の国、水戸の住人で角兵衛という人が月潟村に移り住んだ。角兵衛はあるとき何者かに殺され、当時殺害者は足の指のない男ということだけしか判らなかった。というのは、角兵衛が殺される際、相手の足指をかみ切っていたからである。残された2人の息子、角内・角助は、大衆の中で逆立ちすることを思いつき、「あんよ(足)を上にして、あんよの指のないものを気をつけて見れ」と歌い囃して、不俱戴天(ふぐたいてん)の敵をたずねて諸国を巡り歩いたと伝えられている。又、信濃川沿いのこの地は昔、沼地であった。年々周期的に襲う川の氾濫は、村民を飢餓と塗炭(とたん)の苦しみに追いやっていた。これを憂えた農民角兵衛が獅子舞を創案し、農業のかたわらこれを村民に教えこみ、諸国を巡業した。これが角兵衛獅子の始祖とも伝えられている。

締太鼓(しめだいこ)

いくつかのパターンを組み合わせた「乱地」(らんち)とよばれるものを、子どもたちの動きに合わせて叩きます。

口上(こうじょう)

締太鼓の人が担当します。「金の鯱」(しゃちほこ)、「乱菊」(らんぎく)などの技を述べたり、子どもたちへの掛け声を掛けたりします。

篠笛(しのぶえ)

基本的に締太鼓に合わせて吹きます。囃子方が使用している篠笛は、「6本調子7穴」です。

